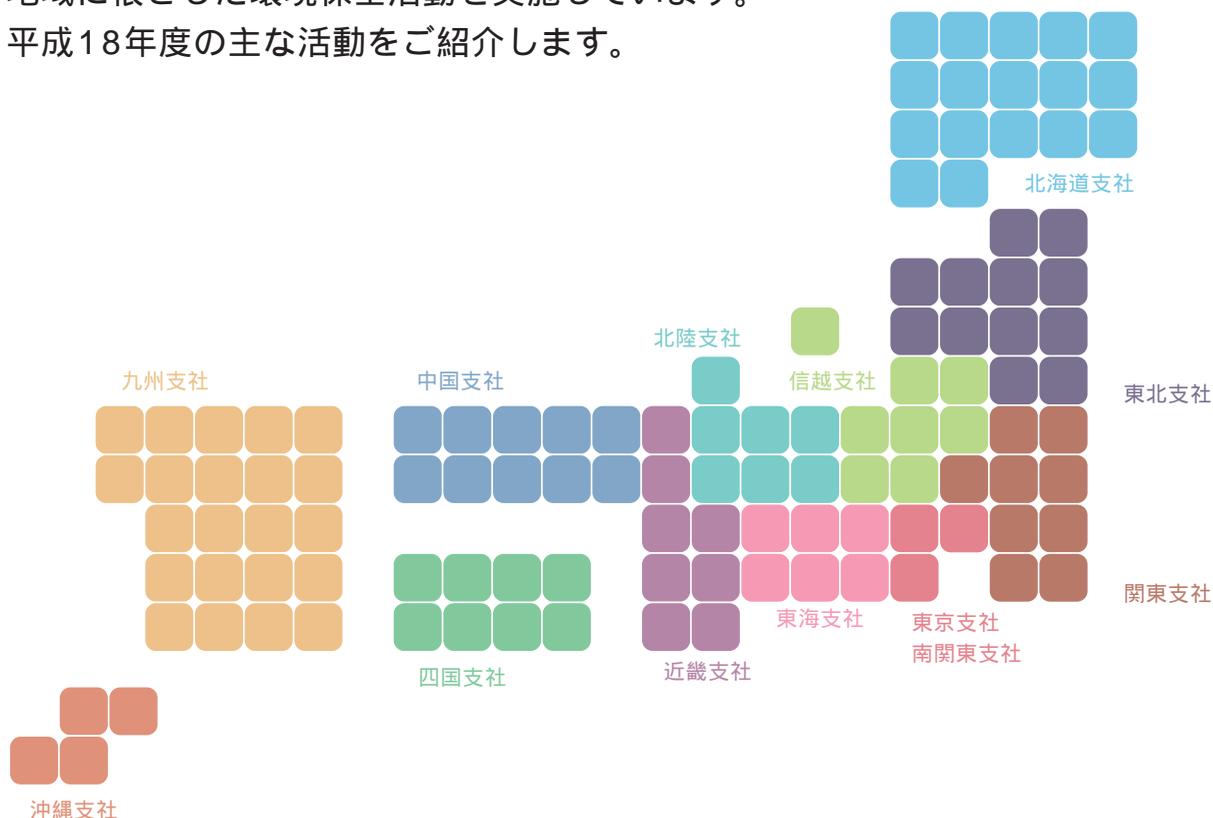


郵便局での環境保全活動

全国の郵便局では、
地域に根ざした環境保全活動を実施しています。
平成18年度の主な活動をご紹介します。



北海道支社



遠軽大通郵便局(北海道)

ごみ排出量削減に向けた取り組み



当局は職員数3名の小さな無集配特定局であり、排出するごみの量はたかが知れているものと思っていました。しかし、一昨年度から始まった町のごみ回収有料化によって年間2万円の支出になり、改めてごみ排出の削減が必要であることを考えさせられました。「コピー用紙の再利用」と「私的なごみの持ち帰り」に取り組むなか、経費的に効果を挙げたのは、排出ごみをごみステーションに出すのをやめて、直接、廃棄物処理場へ持ち込むこと。年間17,000円の経費が削減され、また、自分達で持ち込むことにより「ごみの量を減らすことの重要性」や「ごみ分別の重要性」について身をもって体感することが出来ました。非常に小さな取り組みですが、こうしたことを一つひとつ着実に実施していきたいと考えております。



八戸西郵便局(青森県)

局内燃費コンクールの実施

わたしたちの局では、環境施策に対する職員の意識向上と燃費の向上を目的に、「燃費コンクール」を実施しました。各車両の月間走行距離と給油量から燃費を算出し、「自動二輪の部」、「原付二輪車の部」からそれぞれ燃費の良かった職員上位2人を「エコドライバー」として、毎月全体朝礼で推奨しました。施策実施にあたっては「エコドライブのポイント」を職員へ周知し、「不要なアイドリングをしない」「ふんわりアクセルを実施する」など、地球に優しい運転を心がけました。取り組みの結果、各車両の燃費が数字として表れるため、燃費向上意識が職員に浸透したほか、急ブレーキ・急発進をしないなど運転マナーの向上にも結びつきました。

東北支社



関東支社



倉淵郵便局(群馬県)



「花いっぱい運動」で国道沿いに癒しの空間づくり

倉淵郵便局では、4年前から「NPO法人 源流」や元職員と協力し、局前の約300坪の敷地を四季折々の花で埋め尽くす「花いっぱい運動」を通じ、環境美化活動を展開しています。毎年春には、職員がボランティアで球根や種の植え付け作業に参加、昼休みなどの時間を利用して除草作業を行うなど、丹精込めて育ててきた「かわいい花」が国道沿いに咲きわたっています。郵便局を訪れるお客様はもちろんのこと、国道を利用するドライバーもしばし足を止めて癒しの空間を楽しんでいます。

郵便局での環境保全活動



江戸川東部会および江戸川区役所前郵便局(東京都)

僕と私のECO宣言

江戸川東部会は「僕と私のECO宣言」を作成いたしました。対象者は非常勤職員を含む全職員です。募集にあたり、エコの範囲を職場のみに限定せず、生活全般に目を向けてみました。消費が美德とされた時代を過ごしてきた私たちです。「もったいない」を合言葉にエコを考えました。「生きる」ことを考える時、それと同じように「生かされている」ことも感じます。どの作品を見ても力作です。これからも江戸川東部会全員で「もったいない」を合言葉にエコに取り組みます。

東京支社



南関東支社



大和郵便局・大和部会・綾和部会(神奈川県)

大和市クリーンキャンペーン

2006を実施



大和郵便局と大和部会では、大和市が主催する大和市クリーンキャンペーン2006に参加しました。当日は65名が大和郵便局近くの林の中を1時間30分かけて清掃を実施し、大和市全体で52.55tのごみ回収に協力しました。土屋大和市長(当時)も郵便局に激励にこられ挨拶がありました。この活動は毎年実施されており今後も継続して参加していきます。



西蒲北部会(新潟県)

アルミ缶を積極的に回収し、
福祉施設に提供

部会の近くにある福祉施設では、入園者が行う作業に使用するためアルミ缶の回収を行っていることを知り、部会でアルミ缶を回収し、新潟市内にある福祉施設へ毎月2回程度提供しています。この活動は、部会で取り組む環境施策のひとつとして始めたもので、現在まで10年以上継続して実施し、部会全体の社会貢献活動として定着しています。また「アルミ缶の回収」は、廃棄物を削減するためのリサイクル活動にもつながることから、部会内の職員だけでなく、窓口に来られるお客様にも声をかけするなど、積極的に活動しています。

信越支社



北陸支社



寺井郵便局(石川県)

使用済み「インクカートリッジ」の

回収BOX設置



パソコンの普及にともない、家庭や職場でたくさん使用済みのインクカートリッジが発生します。家電店などでも回収BOXを設置していますが、身近な郵便局にあると便利かな?と発案し、環境月間(平成18年6月)の取り組みとして、お客様窓口ロビーに、使用済みのインクカートリッジの回収BOXを設置し、リサイクル活動を行いました。1か月間の取り組みで、インクカートリッジ58個を回収、リサイクル意識が高まりました。なお、回収したインクカートリッジは、家電店へ持ち込み、リサイクル済みです。



御殿場郵便局(静岡県)

富士山環境パトロールと一斉清掃

平成14年度から毎年、「富士山麓不法投棄防止統一パトロール」と「不法投棄撲滅街頭キャンペーン」に参加しています。平成18年度の「統一パトロール」では、6月12日と12月11日に富士山周辺の林道などをパトロールし、不法投棄を発見した際は写真を撮って報告しました。また、同日に行われた道の駅での「街頭キャンペーン」では、リーフレットやポケットティッシュを配布し、啓発活動にも取り組みました。さらに、8月20日には「富士山をいつまでも美しくする会」主催で行われた富士山登山口付近の一斉清掃にも参加し、可燃ごみ230kg、不燃ごみ370kgを回収しました。

東海支社



近畿支社



東灘東部会・神戸魚崎郵便局(兵庫県)

家庭で取り組む環境問題

(家族にも取り組みを広げましょう)

部会内の全職員が家庭においても省エネルギーや廃棄物の処理について取り組むこととし、まず「京都議定書」の温暖化ガス削減目標の内容を交えながら、郵便局としてもCO₂排出量の削減に取り組んでいることを家族に説明しました。その後、家庭でできる環境の取り組みについて話し合い、各自の家庭で取り組む内容についてまとめた「家議定書」を作成しました。各家庭での取り決め項目を家族で取り組むことによって、職場でもファイルなどの再利用やコピー用紙の裏面白紙利用などに積極的に取り組み始め、職員の意識にも変化が現れています。



河山郵便局(山口県)

シュレッダーした「紙くず」を再利用

きっかけはお客様から、「紙くず」を再利用している畜産農家を教えていただいたことです。畜産農家の方に再利用方法をたずねたところ、旧美川町内(現岩国市)の事業所などから排出される「紙くず」を牛舎の敷物に再利用して、資源の有効活用に役立てたいとのことでした。当局から排出する「シュレッダーした『紙くず』」は、平成18年6月から毎月、畜産農家持込の飼料袋10数袋程度引き取ってもらっており、職員も「ゴミ箱へ捨てる紙があればまずシュレッダーへ！リサイクルとリユース」の意識が浸透し、資源の有効活用・職員の意識改革につながっています。

中国支社





今治郵便局およびしまなみ3部会(愛媛県)

糸山公園クリーンアップイベント

平成18年6月10日(土)、今治郵便局としまなみ3部会合同で今治市の糸山公園の清掃活動を実施しました。当日は職員や職員の家族を含め約160名が参加し、参加者はしまなみ海道の来島大橋をはさんで今治側と大島側にわかれて清掃を行い、約1時間半で約100袋(可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶など)のごみを回収しました。平成15年から毎年糸山公園周辺の清掃活動を実施しており、今回で4回目となりますが、毎回大勢の職員や関係者が参加し、四国内でも規模の大きな活動になっています。



四国支社

九州支社



九州郵政研修所、福岡貯金事務センター、福岡簡易保険事務センターおよび福岡市内の郵便局(福岡県)

ラブアース・クリーンアップ2006に参加

「地球環境と地域行動」の実践として、市民・企業・行政が一体となり、海岸・河川・山なみの一斉清掃を行う「ラブアース・クリーンアップ」に九州郵政研修所及び福岡市内の郵便局などが参加しました。福岡市内では、87会場で35,000名が270tのごみを収集したこの取り組みに、職員および家族370名が参加し、清掃に汗を流しました。92年に福岡市で始まった「ラブアース・クリーンアップ」は、現在では九州・山口県などに広がり、福岡市以外の会場でも多くの職員が参加しています。



那覇中央郵便局(沖縄県)

局内ロビーで「環境パネル展」を実施

平成18年6月22日～6月30日の9日間、那覇中央郵便局では環境月間の取り組みとして、環境保全活動の普及と啓発のため、郵便局窓口2階のギャラリーにおいて環境パネル展を開催しました。パネル展では、沖縄県で開催された「環境パネル展」で使用したパネルを借り受け、環境問題、ごみ減量・リサイクル推進のパネルを展示し、「みんなで広げよう!地球にやさしいエコライフ」をアピールしました。また、那覇中央郵便局が平成17年11月にISO14001の認証を取得し、省エネルギー・省資源の推進による環境負荷削減に努めている取り組みもあわせて紹介し、お客様に広くPRしました。



沖縄支社